

1. 法人基本情報					
(1)都道府県区分	(2)市町村区分	(3)所轄庁区分	(4)法人番号	(5)法人区分	(6)活動状況
22 静岡県	138 浜松市中央区	22130	5080405000120	01 一般法人	01 運営中
(7)法人の名称 社会福祉法人葵会					
(8)主たる事務所の住所 静岡県		浜松市中央区		新橋町770	
(9)主たる事務所の電話番号 053-447-0241		(10)主たる事務所のFAX番号 053-447-0230		(11)従たる事務所の有無 2 無	
(12)従たる事務所の住所					
(13)法人のホームページ http://www.aoikai-sw.or.jp/			(14)法人のメールアドレス seimeiryout@mail.wbs.ne.jp		
(15)法人の設立認可年月日 昭和27年5月17日		(16)法人の設立登記年月日 昭和27年5月31日			

2. 当該会計年度の初日における評議員の状況					
(1)評議員の定員	7~10	(2)評議員の現員	10	(3-6)評議員全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	30,000
(3-1)評議員の氏名	(3-3)評議員の任期	(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5)他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数	
(3-2)評議員の職業					
齋藤 健二	R3.6.14 ~ R7年6月	2 無	2 無	1	
無職					
今荻 伸也	R3.6.14 ~ R7年6月	2 無	2 無	0	
㈱DJ-ム社長					
松山 徹	R6.4.1 ~ R7年6月	2 無	2 無	0	
新津小学校長					
平野 敦子	R4.4.1 ~ R7年6月	2 無	2 無	1	
新津中学校長					
平野 多加	R4.4.1 ~ R7年6月	2 無	2 無	2	
可美幼稚園長					
山本 道男	R6.4.1 ~ R7年6月	2 無	2 無	0	
無職					
川嶋 利博	R4.4.1 ~ R7年6月	2 無	2 無	2	
無職					
山田 秀子	R6.4.1 ~ R7年6月	2 無	2 無	0	
無職					
坂下 雅由	R6.4.1 ~ R7年6月	2 無	2 無	0	
S.V.C HARUNO					
松井 夏子	R6.4.1 ~ R7年6月	2 無	2 無	0	
医療法人社団 松愛会 松田病院					

3. 当該会計年度の初日における理事の状況							
(1)理事の定員	6~9	(2)理事の現員	9	(3-12)理事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	17,257,249	2 特例無	
(3-1)理事の氏名	(3-2)理事の役職(注)	(3-3)理事長への就任年月日	(3-4)理事の常勤・非常勤	(3-5)理事選任の評議員会議決年月日	(3-6)理事の職業	(3-10)各理事と親族等特殊関係にある者の有無	(3-11)理事報酬等の支給形態
	(3-8)理事の任期		(3-9)理事要件の区分別該当状況				(3-7)理事の所轄庁からの再就職状況 (3-13)前会計年度における理事会への出席回数
寺田 賢次	1 理事長 R6.4.1 ~ R7.6	令和6年4月1日	2 非常勤	令和6年3月22日	(福)浜松市社会福祉協議会 会長	2 無	2 理事報酬のみ支給
			1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	2 無			0
山崎 文義	3 その他理事 R5.6.19 ~ R7.6		2 非常勤	令和5年6月19日	山崎電機産業㈱取締役	2 無	2 理事報酬のみ支給
			4 その他				2
小楠 和男	3 その他理事 R5.6.19 ~ R7.6		2 非常勤	令和5年6月19日	無職	2 無	2 理事報酬のみ支給
			4 その他				3
下位 桂子	3 その他理事 R5.6.19 ~ R7.6		2 非常勤	令和5年6月19日	無職	2 無	2 理事報酬のみ支給
			4 その他				3
正久 厚成	3 その他理事 R5.6.19 ~ R7.6		2 非常勤	令和5年6月19日	無職	2 無	2 理事報酬のみ支給
			4 その他				2
澤根 緑	3 その他理事 R5.6.19 ~ R7.6		2 非常勤	令和5年6月19日	無職	2 無	2 理事報酬のみ支給
			2 事業区域における福祉に関する実情に通じている者	2 無			3
石塚 猛裕	3 その他理事 R5.6.19 ~ R7.6		2 非常勤	令和5年6月19日	無職	2 無	2 理事報酬のみ支給
			1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	2 無			3
柴田 典子	3 その他理事 R5.6.19 ~ R7.6		1 常勤	令和5年6月19日	すみれ寮施設長	2 無	3 職員給与のみ支給
			3 施設の管理者				3
野中 利紀	2 業務執行理事 R5.6.19 ~ R7.6		1 常勤	令和5年6月19日	清明寮施設長	2 無	2 理事報酬のみ支給
			3 施設の管理者				3

(注)「(3-2)理事の役職」のうち、「理事長」とは、社会福祉法45条の13第3項で規定する理事長(会長等の他の役職名を使用している法人がある。)である。
「業務執行理事」とは、社会福祉法45条の16第2項第2号で規定する業務執行理事(常務理事等の他の役職名を使用している法人がある。)である。

4. 当該会計年度の初日における監事の状況					
(1)監事の定員	2	(2)監事の現員	2	(3-6)監事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	39,000
(3-1)監事の氏名	(3-2)①監事の職業	(3-2)②監事の所轄庁からの再就職状況	(3-3)監事選任の評議員会議決年月日		
	(3-4)監事の任期	(3-5)監事要件の区分別該当状況	(3-7)前会計年度における理事会への出席回数		
今中 秀裕	無職 R5.6.19 ~ R7.6	2 無	令和5年6月19日		
大道 正治	無職 R5.6.19 ~ R7.6	3 社会福祉事業に識見を有する者 (その他)	3		
		2 無	令和5年6月19日		
		6 財務管理に識見を有する者 (その他)	3		

5. 前会計年度・当該会計年度における会計監査人の状況				
(1-1)前会計年度の会計監査人の氏名 (監査法人の場合は監査法人名)	(1-2)前会計年度の会計監査人の監査報酬額 (円)	(1-3)前年度決算にかかる定時評議員会への出席の有無	(2-1)当該会計年度の会計監査人の氏名 (監査法人の場合は監査法人名)	(2-2)当該会計年度の会計監査人の監査報酬額 (円)

6. 当該会計年度の初日における職員の状況					
(1)法人本部職員の人数					
①常勤専従者の実数	0	②常勤兼務者の実数	6	③非常勤者の実数	0
		常勤換算数	6.0	常勤換算数	
(2)施設・事業所職員の人数					
①常勤専従者の実数	51	②常勤兼務者の実数	6	③非常勤者の実数	25

	常勤換算数	6.0	常勤換算数	15.9
--	-------	-----	-------	------

7. 前会計年度に実施した評議員会の状況

(1)評議員会ごとの評議員会開催年月日	(2)評議員会ごとの評議員・理事・監事・会計監査人別の出席者数				(3)評議員会ごとの決議事項
	評議員	理事	監事	会計監査人	
令和5年6月19日	9	4	2		新役員（理事・監事）の選任について 定款の一部変更について 令和4年度委員会収支決算について 令和4年度清明寮収支決算について 令和4年度すみれ寮収支決算について
令和6年3月22日	6	4	1		理事の選任について 定款の一部変更について 役員報酬等規程の一部改正について 令和5年度委員会収支補正予算について 令和5年度清明寮収支補正予算について 令和5年度すみれ寮収支補正予算について 令和6年度委員会事業計画について 令和6年度委員会収支予算について 令和6年度清明寮事業計画について 令和6年度清明寮収支予算について 令和6年度すみれ寮事業計画について 令和6年度すみれ寮収支予算について

(4)うち開催を省略した回数	0
----------------	---

8. 前会計年度に実施した理事会の状況

(1)理事会ごとの理事会開催年月日	(2)理事会ごとの理事・監事別の出席者数		(3)理事会ごとの決議事項
	理事	監事	
令和5年5月30日	9	2	新役員（理事・監事）案の提示について 評議員会召集の決定について 定款の一部変更について 就業規則の変更について 令和4年度委員会事業報告について 令和4年度委員会収支決算について 令和4年度清明寮事業報告について 令和4年度清明寮収支決算について 令和4年度すみれ寮事業報告について 令和4年度すみれ寮収支決算について
令和5年6月19日	9	2	理事長及び業務執行理事の選定について
令和6年3月13日	8	2	評議員会召集の決定について評議員の退任に伴う評議員候補者の推薦について評議員選任・解任委員会召集の決定について理事の選任案の提示について 第三者委員の選任について 定款の一部変更について 役員賠償責任保険の契約について 清明寮・すみれ寮管理運営規定の一部変更について 役員報酬等規程の一部改正について 給与規程の一部改正について経理規程の一部改正について資金運用規定の一部変更について令和5年度委員会収支補正予算について令和5年度清明寮収支補正予算について令和5年度すみれ寮収支補正予算について 令和6年度委員会事業計画について 令和6年度委員会収支予算について 令和6年度清明寮事業計画について 令和6年度清明寮収支予算について 令和6年度すみれ寮事業計画について 令和6年度すみれ寮収支予算について

(4)うち開催を省略した回数	0
----------------	---

9. 前会計年度に実施した監事監査の状況

(1)監事監査を実施した監事の氏名	今中秀裕 大道正治
(2)監査報告により求められた改善すべき事項	なし
(3)監査報告により求められた改善すべき事項に対する対応	なし

10. 前会計年度に実施した会計監査(会計監査人による監査に準ずる監査を含む)の状況

(1)会計監査人による会計監査報告における意見の区分	
----------------------------	--

11. 前会計年度における事業等の概要 - (1)社会福祉事業の実施状況

①-1拠点 区分コード 分類	①-2拠点 区分名称	①-3事業類型コード 分類	①-4実施事業名称				②事業所の名称				
		③事業所の所在地				④事業所の 土地の保有 状況	⑤事業所の 建物の保有 状況	⑥事業所単位での事業開 始年月日	⑦事業所単 位での定員	⑧年間(4月～3 月) 利用者延べ総 数(人／年)	
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況（当該拠点区分における主たる事業（前年度の年間収益が最も多い事業）に計上）									
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額（円）	(ウ) 補助金額（円）	(エ) 借入金額（円）	(オ) 建設費合計額（円）	ウ 延べ床面積			
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日 (1回目)	(ア) - 2 修繕年月日 (2回目)	(ア) - 3 修繕年月日 (3回目)	(ア) - 4 修繕年月日 (4回目)	(ア) - 5 修繕年月日 (5回目)	(イ) 修繕費合計額（円）			
101	本部	01020301	児童養護施設				寮会				
		静岡県	浜松市中央区	新橋町770番地		1 行政からの賃借等	3 自己所有	昭和27年4月1日	0	0	
		ア建設費						0			
		イ大規模修繕									
		01020301	児童養護施設				清明寮				
102	清明寮	静岡県	浜松市中央区	新橋町770番地		3 自己所有	3 自己所有	昭和27年4月1日	110	799	
		ア建設費	平成16年11月30日	35,316,000	565,197,000	140,000,000	740,513,000	2,674,000			
		イ大規模修繕									
		01020301	児童養護施設				すみれ寮				
		静岡県	浜松市天竜区	春野町気田502-2		3 自己所有	3 自己所有	平成14年9月1日	20	240	
103	すみれ寮	ア建設費						0	417,000		
		イ大規模修繕	平成16年8月6日								

11. 前会計年度における事業等の概要 - (2)公益事業

①-1拠点 区分コード 分類	①-2拠点 区分名称	①-3事業類型コード 分類	①-4実施事業名称		②事業所の名称					
		③事業所の所在地			④事業所の 土地の保有 状況	⑤事業所の 建物の保有 状況	⑥事業所単位での事業開 始年月日	⑦事業所単 位での定員	⑧年間(4月～3 月)利用者延べ総 数(人/年)	
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況（当該拠点区分における主たる事業（前年度の年間収益が最も多い事業）に計上）								
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額（円）	(ウ) 補助金額（円）	(エ) 借入金額（円）	(オ) 建設費合計額（円）	ウ 延べ床面積		
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日 (1回目)	(ア) - 2 修繕年月日 (2回目)	(ア) - 3 修繕年月日 (3回目)	(ア) - 4 修繕年月日 (4回目)	(ア) - 5 修繕年月日 (5回目)	(イ) 修繕費合計額（円）		

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (3)収益事業

①-1拠点 区分コード 分類	①-2拠点 区分名称	①-3事業類型コード 分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称				
		③事業所の所在地			④事業所の 土地の保有 状況	⑤事業所の 建物の保有 状況	⑥事業所単位での事業開 始年月日	⑦事業所単 位での定員	⑧年間(4月～3 月) 利用者延べ総 数(人/年)	
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況（当該拠点区分における主たる事業（前年度の年間収益が最も多い事業）に計上）								
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積		
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日 (1回目)	(ア) - 2 修繕年月日 (2回目)	(ア) - 3 修繕年月日 (3回目)	(ア) - 4 修繕年月日 (4回目)	(ア) - 5 修繕年月日 (5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)		

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (4)備考

清明寮においては、一時保護委託、レスパイト・ケア事業、子育て短期支援委託事業を実施した。
すみれ寮においては、保育ママ事業委託を実施した。

11-2. 地域における公益的な取組（地域公益事業(再掲)含む）

①取組類型コード分類	②取組の名称	③取組の実施場所(区域)
	④取組内容	
地域における公益的な取組①（地域の要支援者に対する相談支援）	すずらん	浜松市中央区
	乳幼児の子育て支援事業	

1 2. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況

（社会福祉充実残額算定シートを作成するまで編集することはできません）

(1) 社会福祉充実残額等の総額(円)

(2) 社会福祉充実計画の策定の状況

①事業名	②事業種別	④事業内容（記述）	⑤計画における事業費のうち社会福祉充実残額財源の合計(円)	⑥⑤のうち今会計年度以降の合計(円)
	③事業内容		⑤の合計(円)	⑥の合計(円)
			0	0

(3) 社会福祉充実残額の前年度の投資実績額

①社会福祉事業又は公益事業（社会福祉事業に類する小規模事業）(円)

②地域公益事業(円)

③公益事業(円)

④合計額（①+②+③）(円)

⑤社会福祉充実計画の実施期間

	0
	0
	0
	0

～

1 3. 透明性の確保に向けた取組状況

(1)積極的な情報公表への取組

①任意事項の公表の有無

⑦事業報告

⑧財産目録

⑨事業計画書

⑩第三者評価結果

⑪苦情処理結果

⑫監事監査結果

⑬附属明細書

1 有
1 有
1 有
2 無
1 有
1 有
2 無

(2)前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況

①事業運営に係る公費(円)

②施設・設備に係る公費(円)

③国庫補助金等特別積立金取崩累計額(円)

508,748,416
5,255,040
13,279,129

(3)福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について

施設名	直近の受審年度
中部評価センター	2023

1 4. ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1)会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況

①実施者の区分

②実施者の氏名（法人の場合は法人名）

③業務内容

④費用〔年額〕(円)

(2)法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況

①所轄庁から求められた改善事項

②実施した改善内容

03 税理士
鈴木淳
イ 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援
624,000

1 5. その他

退職手当制度の加入状況等（複数回答可）

①社会福祉施設職員等退職手当共済制度（（独）福祉医療機構）に加入	1 有
②中小企業退職金共済制度（（独）勤労者退職金共済機構）に加入	2 無
③特定退職金共済制度（商工会議所）に加入	2 無
④都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間の社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入	1 有
⑤その他の退職手当制度に加入（具体的に：●●●）	
⑥法人独自で退職手当制度を整備	2 無
⑦退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	2 無

1 6. 社員として所属する社会福祉連携推進法人の名称

令和5年度 社会福祉法人葵会事業報告

福祉理念「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」

平成28年4月、「児童福祉法等の一部を改正する法律」が施行され、これに基づき、平成29年8月「新しい社会的養育ビジョン」が示され、都道府県政令市に対して、施設に比べて家庭に近い環境となる里親や特別養子縁組での「代替的家庭養育優先の原則」の徹底が求められ、「概ね7年以内に(3歳未満は概ね5年以内)に乳幼児の里親委託率75%以上」、「概ね10年以内に学童期以降の里親委託率を50%以上」の数値目標が示され、児童養護施設に対しては、高機能化及び多機能化・機能転換、小規模化・地域分散化の推進が求められた。

この新しい社会的養育ビジョンを受けて、本法人は、「葵会中長期事業計画(10年計画)」を策定し、その計画に基づき清明寮は、2つの地域小規模児童養護施設の開設による小規模化・地域分散化と一時保護グループケア事業の開始による多機能化を推し進めた。

令和5年度末になって子ども家庭庁は、次期都道府県社会的養育推進計画の策定要領を発令し、今後は、都道府県(浜松市)は、この要領に沿い社会的養育推進計画の修正をする予定である。清明寮、すみれ寮両施設は、この推進計画を精査し令和11年までの施設中長期計画の修正を検討していくことになる。

令和5年度本法人は、経営する二つの児童養護施設に共通する喫緊の課題となっている職員の不足を解消するために、新卒職員の採用に向けての養成校へのアプローチや自主実習の受入、学生アルバイトの積極的雇用、勤務職員の待遇改善として正規職員の俸給のベースアップやパート等非正規職員の時間給の増額を実施し、また、大地震発生時に対応するための非常災害発生時事業計画(BCP)を策定し、2つの児童養護施設の子ども達に提供する養育サービスのより一層の向上を図るため福祉サービス第三者評価を受審し、社会的養護を取り巻く社会環境が大きな転換期を迎える中で、福祉理念である「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」のより一層の具現化に向けて、入所している子ども達の幸せとここに勤める職員の将来のために、公共的・公益的かつ信頼性の高い法人経営を遂行した。

福祉理念「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」

「今日の幸せ」とは、様々な家庭の事情により施設に入所した子ども達に対するインケアであり、職員と子どもが共に生活する中で、安心・安全で快適な生活を保障し、受容・共感し傷ついた心を癒しながら、基本的生活習慣や学習習慣等を身につけることである。

「明日の幸せ」とは、家庭復帰または進学・就職して施設を退所していく子ども達が、社会人として自立した生活を送るためのリービングケアであり、将来のために様々な体験をさせることにより、社会性・協調性等を育て、社会への適応力を高めることである。

1 社会福祉法人葵会事業実施状況

社会福祉法人葵会は、基本福祉理念「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」に基づいた施設運営と、全国社会福祉施設経営者協議会が示した中期行動計画アクションプラン2020の「社会福祉法人行動指針」に基づいた以下の法人事業を実践し、社会福祉法人として信頼性の高い経営の実現に努めた。

(1)「養育サービスの質の向上」

入所している子ども達にクオリティの高い支援を提供するために、清明寮・すみれ寮は、3年度毎に受審を義務付けられている福祉サービス第三者評価を受審し、その結果を活かして養育サービスの質の向上に努めた。また、感染症予防及び事故防止の対策の充実を図り、安心・安全な環境の提供のため、非常災害発生時事業計画（BCP）や安全計画の策定、ヒヤリハットを活用するなどリスクマネジメントを実施した。

(2)「人権の尊重」

職員に倫理綱領・行動規範を遵守させ、入所している子ども達の権利擁護に努めるとともに、子ども達の自己決定と選択を尊重した。

子ども・家族からの苦情・要望に対して誠意を持って適切に対応し、施設で発生した重大な事故等に対して外部の公正な判断を得て、解決策および再発防止策を推進するための第3者委員会を開催した。

(3)「地域との共生」

新型コロナウイルスの第5類に移行することに伴い、自粛されていた地域イベントが再開された。地域に開かれた施設として感染状況を確認しながら、子ども達が地域イベント参加すると共に、地域の皆様の施設イベントへの招待、地域ボランティアの受入等を行った。

(4)「社会的ルールの遵守（コンプライアンス）の徹底」

関係法令等の社会的ルールを遵守した経営に努めるため、関係法令等の制定や改正に対応して、内部規程の整備を実施すると共に、職員への周知を徹底した。

(5)「説明責任（アカウンタビリティ）の徹底」

提供する養育サービスに関する情報を利用者に適切に説明した。また、広報紙の定期的発行・HPの更新等で、法人の業務及び財務等に関して積極的な情報開示に努めた。

(6)「職員の積極的雇用および育成の充実、働きがいのある職場の実現」

不足している職員の積極的雇用に努めると共に専門性や資質の向上を図るため、研修計画を基に内部研修会の開催・リモートを含めた外部研修会への参加・自己研鑽事業への助成等に取り組んだ。また、職員相互の円滑なコミュニケーションのもと、職員が仕事を通じてやりがいと達成感を実感できる職場づくりを進めた。

(7)「地域における公益的な取組みの推進」

子育てサロンすずらんの定期的な開催及び子育て支援短期利用事業・保育ママ事業の浜松市から受託、里親支援専門相談員の配置等により里親家庭や地域の子育て支援に努めた。

(8)「組織統治（ガバナンス）の確立」

理事会・評議員会において事業方針・計画を明確にし、監事監査の実施、公認会計士のチェックによる財務の透明性の確保に努めた。

(9)「財務基盤の安定化」

長期的な使用計画に則り施設整備等積立金を積立て、将来の施設の改築、大規模修繕等に備えた。また、積立金を確保するためコストマネジメントを実施し、職員全体のコスト意識の醸成に努めた。

(10)「経営者の役割の遂行」

役員・施設長は、リーダーシップを発揮し、良質かつ安全安心な養育サービスの提供に向けて、当法人の福祉理念・事業方針を実践した。

2 社会福祉法人葵会主要事業の実施状況

(1) 児童養護施設「清明寮」の運営

事業報告は、「清明寮事業報告」による。

(2) 児童養護施設「すみれ寮」の運営

事業報告は、「すみれ寮事業報告」による。

(3) すみれ寮地域小規模児童養護施設「パル」の運営

事業報告は、「すみれ寮事業報告」による。

(4) 清明寮地域小規模児童養護施設「あしたば」「ふたば」の運営

事業報告は、「清明寮事業報告」による。

(5) 清明寮一時保護グループケア「やまもも」の運営

事業報告は、「清明寮事業報告」による。

(6) 福祉サービス第三者評価の受審

ア 清明寮 契約日 令和5年5月24日、評価結果確定日 令和6年3月21日

イ すみれ寮 契約日 令和5年6月1日、評価結果確定日 令和6年3月29日

(7) 理事会、評議員会、評議員選任解任委員会の開催

ア 理事会

令和5年5月30日 10議案（評議員会の召集、法人・施設の4年度事業報告・収支決算、定款の一部改正、就業規則の一部変更）

令和6年3月13日 21議案（評議員会の招集、評議員候補者の推薦、選任解任委員会の招集、各種規程の一部改正、理事の選任案の提示、第三者委員の選任、法人・施設の5年度補正予算、法人・施設の6年度事業計画・収支予算、役員賠償責任保険の締結）

イ 評議員会

令和5年6月19日 5議案（新役員の選任、定款の一部変更、法人・施設の4年度収支決算）

令和6年3月22日 12議案（理事の選任定款の一部変更、法人・施設の5年度補正予算6年度事業計画・収支予算）

ウ 評議員選任・解任委員会の開催

令和6年3月27日 評議員の選任

(8) 第三者委員会の開催

令和5年7月31日 第1回第三者委員会 報告事項9件(事故、けが、感染症)

令和5年11月24日 第2回第三者委員会 報告事項2件(事故、けが)

令和6年3月7日 第3回第三者委員会 報告事項7件(事故、けが、感染症、養育課題)

(9) 監事監査の実施

令和5年5月24日 4年度事業及び決算の監査、業務状況・財務諸表の監査

3 事業報告の附属明細書

法人、施設の事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

令和5年度 児童養護施設 清明寮 事業報告

「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、子どもたちの生活や施設の運営にも変化が起きた。人との関りが希薄になった時期を過ごしたため、当初対応に戸惑う子どももいたが、学校や地域、関係機関の支援もあり、日常の感覚を取り戻していった。

平成28年の改正児童福祉法に合わせ、国は、社会的養護を必要とする児童が心身ともに健やかに養育されるよう「家庭と同様の環境における養育の推進」を国、地方公共団体の責務として位置付けた。

第一には、児童は家庭において養育されるよう保護者への支援の検討、第二に家庭における養育が適当でない場合には、「家庭における養育環境と同様の養育環境」として里親やファミリーホーム等での継続的な養育の優先、さらにそれが叶わない場合には、施設養育が挙げられ、「できる限り良好な養育環境」として小規模型グループケアでの養育が求められている。本体施設の役割は、ケアニーズの高い児童の養育を担うとともに支援拠点機能として管理職や専門職を配置し、施設全体のマネジメントや小規模グループケアの支援そして、地域における子育て支援の機能も求められている。

清明寮は、「改正児童福祉法」「新しい社会的養育ビジョン（平成29年8月）」「都道府県社会的養育推進計画（令和2年3月）」の流れに沿い施設の中長期計画を策定し、小規模化・地域分散化として地域小規模児童養護施設2か所を開設した（令和2年・4年）。また幼児年齢層の入所減少が続いたため、令和4年に本体1階部分を幼児養育グループから一時保護専用施設へと機能転換を図った。この一時保護グループケアは、児童相談所の一時保護所の補完機能としてだけでなく、浜松市子育て短期支援事業を受託し、保護者のニーズに合わせたショートステイを受入れ、地域の子育て世帯の支援にも繋げている。

令和5年度は、ここ数年間の課題である人材確保や育成に対し、職員採用に向けての養成校へのアプローチや学生アルバイトの積極的雇用、新任採用職員への研修の取り組みの強化を進めた。また、施設サービスの質の向上を目指す第三者評価受審に際し、各職員が施設の現状を自己評価し、評価機関による低評価や改善の必要な項目に関しての振り返りを行った。

児童の処遇に関しては、コロナ禍が明け子どもたちが楽しみにしている年間行事を実施することができた。納涼の夕べやクリスマス会などの施設行事、キャンプや遠足、ダンスクラブなどのグループ活動、企業や地域関係による招待や支援を受けることにより、児童期に必要な多くの体験の機会を得ることができた。

清明寮は、児童養護施設の在り方が変化する中であっても、子どもが安心安全を感じられる生活を保障し、子ども自身が希望や意見を表明できる養育を目指し、法人の福祉理念である「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」の実現に向けた施設運営を推進した。

I 令和5年度の主な事業実施状況

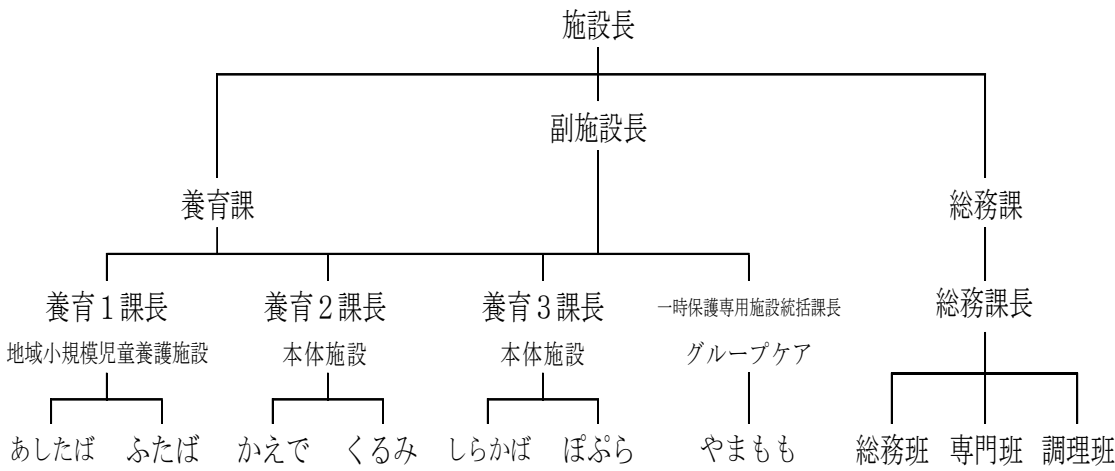
- (1) 子ども一人ひとりの発達段階・課題とニーズを把握し、家庭的養育と専門的なケアを合わせた養育を目指し、小規模グループでの取り組みや心理療法担当職員、里親支援専門相談員などの活動を通し、専門性を活かした取り組みができた。
- (2) 次期都道府県社会的養育推進計画を精査し、令和2年度に定めた清明寮中長期計画の見直しを視野に入れ、本体施設の養育機能の高機能化や多機能化、地域分散化を検討していく。
- (3) 2つの地域小規模児童養護施設の運営について、相互に連携し充実を図った。
- (4) 令和4年12月に開設した一時保護専用施設やまももについて、浜松市児童相談所と経過の評価し、一時保護児童の受け入れや今後の運営の在り方について協議した。
- (5) 浜松市から受託した児童養護施設等の退所者支援事業所しいの木について清明寮の退所者支援が主となり、社会的養護経験者への支援を広げきれなかった。
- (6) 本体施設の大規模修繕を視野に入れ、児童の生活に合わせた修繕及び器具什器の更新を進め、本体施設の空調設備の修繕を行った。

II 養育方針

清明寮職員は全員で子ども一人ひとりを受け止め育むために細やかな目配りと深い愛情を注ぎ、社会的養護を担う福祉職としてのプロ意識を持って専門性の向上に努め、以下に掲げた養育方針(目標)を達成するために精励努力した。

- 1 子どもの権利を擁護し、意見表明権を尊重し、子どもの意見に向き合い、意見を表明できるようにきめ細かな配慮を行った。評価機関による第三者評価受審でも子どもの満足度が高い結果にはなったが、子どもの自由な意見の少なさが課題である。
- 2 子どもに寄り添い家庭的な養育支援を推し進め、安心してのびのびとした生活が送られるように努め、食事や余暇場面のグループ化や少人数での外出も増やした。
- 3 チームアプローチを活用し、子ども一人ひとりとの個の関わりを大切にし、心の痛みへの受容共感を通して、情緒の安定や大人への信頼関係を育むよう努めた。職員の連携や他のグループとの情報共有については今後も努力していく。
- 4 食を通じて豊かな人間性を育て、健康で生き生きとした生活を送る基礎を培った。
- 5 子どものグループでの活動から、協調性や思いやりの心、継続して取り組む力を育てることを考慮し、ポートボールやダンスクラブ、サッカー大会、自転車旅行などの取り組みを通してグループの力を発揮できるように取り組むことができた。
- 6 安全な生活を保障するため、健康管理に注意し、事故や災害の防止に努めるため、安全計画の策定、危機管理マニュアルの修正やヒヤリハットの報告に努めた。
- 7 地域行事や関係団体行事に積極的に参加し、地域社会の中での育みを大切にした。納涼の夕べを開催し、地域住民の参加やボランティアとして運営へ携わってもらう。また、地域の行事としてのポートボール大会やダンスクラブの出演の機会を得ることができた。
- 8 一人ひとりの発達段階やニーズに応じて学習をサポートし、学習意欲を育て、学力向上を図る。小学生は公文式学習に取り組み、中学生に関しては、能力や特性に合わせた学習塾を選択できるようにした。
- 9 保護者の皆様の状況を正確に把握し、子どもの意向を尊重する中で、関係機関と協力して早期家庭復帰及び里親委託に向けて支援をした。
- 10 施設退所後の生活に向けて、多くの体験を通して社会性を育み、自立を支援し、併せて退所後の相談に応じたが、こちらからの関りは限定的なものとなってしまった。

Ⅲ 養育体制



IV 子ども一人ひとりのための年間事業報告

1 自立支援計画の作成と見直し及びアセスメントシートの作成

子ども一人ひとりの自立支援計画票を子どもや保護者の意向を聞き、児童相談所と調整しながら作成し、定期的な児童相談所との連絡会の場で見直しを図った。

子ども一人ひとりの心身や生活の状況を把握するためのアセスメントシートを作成し、個々の課題を明示した。子どもが主体となり、計画策定できるよう取り組んだ。

2 子ども達の健やかな養育のための年間行事

社会への適応性を高め、豊かな人間性を育てるため年間を通して多様な施設行事を実施し、また地域や関係機関団体等の行事への希望児童の参加、企業やライオンズクラブ・ロータリークラブ等の団体からの施設訪問・招待を受け入れて生活体験を充実させる。

※別紙「子どもの年間行事計画」参照

3 養育の質の向上と自立支援

子どもたちの生活や自立の在り方について考え、養育の質の向上と自立を支援するため以下の事業を実施した。

自己評価、心理療法担当職員の複数配置による心理的ケアの強化、

学習指導専門員による小学生への学習指導

リービングケア（中高校生への自立支援）、セカンドステップ（暴力防止プログラム）

だいだいの会(性教育)、ライフストーリーワーク(生き立ちの整理、告知)、子ども会議(自治活動)の開催

公文式プリント学習による学力・学習意欲の向上、管理栄養士等による食育

家庭支援専門相談員の複数配置による家庭調整の強化

外部の臨床心理士や児童家庭支援センター職員によるスーパーバイズによる報告検討会

児童精神科医による巡回相談による治療的アドバイス

第三者評価受審結果の養育に係わる低評価項目の確認

4 子ども達が安心して生活するための権利擁護

子ども一人ひとりの権利を尊重し、安心して生活できる環境を提供するため、懲戒に係る権限の濫用禁止及び被措置児童等虐待防止に向けて以下の事業を実施した。

養育環境向上委員会、第三者委員会、子どもおもしろいやり委員会、苦情受付箱の設置

被措置児童等虐待防止の内部研修会

5 家庭的な養育支援の推進

施設内での養育単位の小規模化、養育支援の個別化を図り、子どもの意思を尊重する中で家庭的な養育支援を推進した。

中学生以上の子どもに個室の提供、7月別遠足の学年単位の小グループ化

担当職員との個別外出・誕生日外食、食事グループやレクリエーション活動の小規模化、家庭学習の個別指導

施設行事・招待行事等の参加希望意思の尊重

6 児童相談所との連携

措置機関である児童相談所と、子ども一人ひとりの家庭状況、発達課題等の情報を共有し、連携して自立支援にあたった。ショートランや里親家庭支援に関しては、里親支援専門相談員が児童相談所里親グループに協働し行うことができた。

児童相談所の児童福祉司・児童心理司・医師(児童精神科)による発達課題や心理状態に

応じた定期的な面接の実施、児童相談所との連携による早期家庭復帰(家族再統合)の推進
ショートラン(週末)里親の利用による家庭体験

7 学校との連携

子ども達が通園・通学する幼稚園・小中学校・高等学校と、子どもの発達課題、現況等について情報を共有し、連携して学力向上や心身の健やかな成長を図った。

子ども達の情報提供及び赴任教員への施設概要説明を新学期が始まる4月に実施
小学校と子ども達の課題・現況等について対応協議等を行う連絡会の定期的開催
進路指導、調整が必要な課題について児童相談所を含めた関係者会議の開催

8 早期家庭復帰に向けての保護者との連携

早期の家庭復帰に向けて、子どもと保護者との家族の絆を深め、また、職員と保護者との連携を深めるため以下の事業を実施した。

毎月の家庭実習(一時帰宅)・年末年始等の長期家庭実習、親子交流・面会等

毎月のお便り、広報誌せいめいの送付

児童相談所、関係機関との連携による家庭支援、家庭支援専門相談員による家庭支援

9 児童養護施設等の退所者支援事業所「しいの木」の運営

浜松市退所児童等アフターケア事業を受託し、市内の児童養護施設・自立援助ホーム等の退所を控えた児童および既に退所した児者が就労・学業を継続し、安定した生活が営めるように情報提供、研修、居住先等への訪問及び施設に招いての個別の相談等を行うこととしたが、自施設の退所児童のアフターケアに留まってしまった。

各施設、里親家庭への情報発信 退所者に向けた個別の情報提供

インターネット講座等の自立支援セミナーの開催

就労支援事業「社会に旅立つ君に」の開催

10 ボランティアの受入れ

児童養護施設へのボランティアを希望する団体・個人の方々を積極的に受入れ、養育の質の向上、養育環境の整備等を図った。

新津地区社会福祉協議会の遊び広場

南区更生保護女性会による植樹ボランティア

アピオによる理美容ボランティア

浜松医科大生ボランティアサークル四つ葉による中学生への学習指導ボランティア

新津地区の体育振興会・女性部・子ども会による「納涼の夕べ」イベントボランティア

(株)エリジオン社員・悠々塾・ドリーム等による「納涼の夕べ」イベントボランティア

個人ボランティア(環境美化)

V 施設運営のための年間事業報告

1 会議・委員会・連絡会

子ども一人ひとりへの養育の質の向上と円滑な施設運営を図るため、また関係機関団体との連絡調整等のために、以下の会議・委員会を開催した。

(1) 施設内部の会議・委員会・連絡会

職員会議、職員連絡会、事業計画実施委員会、課長会議、リーダー会議、各課横断会議、課内会議、献立懇談会議

ケース報告検討会、リスクマネジメント検討委員会、防災委員会、感染予防対策委員会
養育環境向上委員会(苦情解決、自己評価)
各種研究委員会(性教育、支援プログラム、リービングケア、公文式学習)

(2) 関係機関団体等との連絡会等

静岡県・浜松市の児童相談所との連絡会(自立支援計画票の作成と見直し等)
新津小中学校、可美幼稚園との連絡会、新津地区民生委員との連絡会

2 人事・労務管理

(1) 教育訓練・能力開発管理

職員の専門性の向上を図り、より質の高い養育を提供するために以下の内部研修会等を実施し、外部研修会へ参加した。

- ア 職員キャリアパス
- イ 職員自己評価シート
- ウ OJTの実施
- エ スーパービジョンの実施
- オ 内部研修会の開催

職員研修会(専門性の高い外部講師の招聘・内部の幹部職員がテーマを決めて実施・各課横断話し合い)

新任職員研修会、新採職員採用前研修、自己啓発援助制度

県立子ども病院医師による研修会、市児相児童心理司によるスキルアップ研修

発達障害児への対応方法を学ぶペアレントトレーニング研修、

日本公文教育研究会施設サポート部による公文プリント学習指導スキルアップ研修会

カ 外部研修会への参加及び施設視察研修の実施

施設長研修会、指導員保育士職員研修会、事務職員研修会、栄養士・調理職員研修会

心理担当職員研修会、家庭支援専門相談員研修会、里親支援専門相談員研修会

新任職員研修会、権利擁護研修会、浜松市施設職員資質向上研修派遣事業の受託

キ 施設の小規模化(家庭的養育推進)・多機能化に向けての研修の充実

運営会議にて中長期計画の検討

先進的施設の視察、関係研修会への出席

(2) 健康福利管理

職員の健康を維持し福利厚生を充実させるため、以下の費用助成・サービス提供等を実施した。

職員定期健康診断の実施と健診費用の助成、インフルエンザ予防接種費用の助成

福利厚生センターへの加入による各種福利厚生サービスの提供

社会福祉施設従事者相互保険への加入による医療保障

3 施設(建物・設備)の整備保全、備品購入

安全で快適な施設の生活環境の確保及び維持するため以下の事業を実施した。
快適な生活環境を提供するための各所工事、故障・破損による建物設備の修繕工事
業務委託による建物・設備の保全(特殊建築物定期点検・エレベーター・貯水槽等)
空調設備の修繕、その他故障・破損等による備品等の買い替え、児童用・業務用等の備品の購入

4 安全管理・保健衛生・健康管理

災害による危険を防ぎ、事故のない安全な施設生活を保障し、健康で健やかな成長を図るために以下の事業を実施した。
非常災害発生時の事業計画（BCP）の策定、研修
大規模地震発生時の初期対応シートの更新
安全計画の策定、危機管理マニュアルの随時修正、ヒヤリハットの活用
業務委託による安全管理(防災設備点検・害虫駆除・非常通報装置点検等)
職員による毎月の設備等点検(防災設備・遊具・業務用自動車)
地震・津波襲来に備えての毎月の避難訓練、火災に備えての避難訓練・消火訓練
防災連絡網整備（LINE）
南消防署員参加による総合防災訓練、総合防災対策強化事業費申請、防犯・交通教育
不審者侵入防止警報装置、防犯カメラ、食器消毒・調理員保菌検査・水質検査等
嘱託医による内科健診・歯科検診、インフルエンザ予防接種、投薬表による薬品管理
薬剤師による研修

5 施設機能を活かした地域貢献

児童養護施設が保有する専門性を活かした地域貢献を図るため以下の事業を実施した。
浜松市子育て支援短期利用事業(ショートステイ・トライステイ)の受託
地域の未就学児の子育て中の親子を対象に毎月1回の子育てサロン「すずらん」の開催
スイーツ作り、ミニ運動会の開催、いちご狩り遠足、外部講師の講話等の実施
里親支援専門相談員を配置し里親委託の推進を支援
里親レスパイト事業の受託による里子のショートステイの受入、清明寮里親サロンの開催
養育里親認定施設研修の受入れ、福祉職員養成校での啓発授業
浜松市児相里親サロン及び県西部児相里親ひろばへの出席 浜松市里親会夢風サロンへの出席
浜松市要保護児童対策地域協議会実務者会議への出席
広い駐車スペースを活用した団体への駐車場利用の受入

6 地域の関係機関団体との連携

施設長・職員が地域関係機関団体の役員等に就任し、開かれた施設運営、地域との連携強化を図った。
新津中学校区青少年健全育成会監事
新津地区防犯まちづくり推進協議会啓発広報部員
新津中学校区防災教育防災連携連絡会会員、新津小中学校 PTA 監事
浜松東警察署可美公園前交番連絡協議会委員
浜松市要保護児童対策地域協議会代表者会議専門委員

7 次世代の児童福祉を担う人材の養成

児童養護施設が保有する専門性を活かして、児童福祉を担う人材の積極的養成のために以下の事業を実施した。
養成校への積極的アプローチ
福祉職員養成校からの保育士・社会福祉士等の資格取得実習生の積極的受入
福祉職員養成校からの依頼による講師派遣
自主実習の受入れ、学生アルバイトの積極的雇用
学生の施設見学の受入

8 地域小規模児童養護施設の運営

地域小規模児童養護施設あしたば及び地域小規模児童養護施設ふたばの特色を生かし、充実した運営を行った。

9 一時保護グループケアの運営

一時保護グループケアやまももの浜松市児童相談所及び西部児童相談所との連携による充実した運営を行い、浜松市児童相談所と委託の受け入れや運営について評価、協議を行った。

10 コストマネジメントの実施

コスト意識をより一層高めて、日用品費・水道光熱費、消耗品費等の経費の削減に努めた。職員へ周知として執行状況を確認する場を持った。

11 施設の I C T(情報通信技術)化の推進

児童支援記録システム「すこやか日誌」を施設内情報共有としてツールとした。情報提供としては活用できたが、意思相通としての在り方には課題が残った。

令和5年度 施設運営年間事業報告

月	内部会議・委員会	関係機関等との会議	研修(内部・外部)	その他
4	葵会運営会議 課長会議 防災委員会・感染予防対策委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	県西部地区施設連絡会 施設概要説明会(幼、小・中学校) 市施設協児童障害部会 県養協施設長会議 県養協職員部会議 地域関係団体総会	各種研究委員会(内部) 新任職員研修会(内部)	辞令交付(新採・異動職員) セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 公文式プリント学習 広報紙発行 キャリパス(自己目標管理シート)前期目標
5	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 リスクマネジメント検討委員会 おもいやり内部委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会理事会	家庭訪問(幼、小・中学校) 新津小学校との連絡会 おもいやり委員会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	各種研究委員会(内部) 県養協職員研修会	セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 公文式プリント学習
6	葵会運営会議 課長会議 衛生委員会 ケース報告検討会 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 定時評議員会	児童相談所との連絡会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	各種研究委員会(内部) 職員研修会(内部) 県養協新任職員研修会 県給食協会衛生講習会 (ペアレントトレーニング)	セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 人事評価 公文式プリント学習 * 課長のよるフィードバック
7	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 リスクマネジメント検討委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会第三者委員会	第三者委員会 県養協施設長会議 県養協職員部会議 市施設協児童障害部会	各種研究委員会(内部) 県養協職員研修会 県社協新任職員研修会 関プロ児童養護施設研究協議会 (ペアレントトレーニング)	セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 職員健康診断(宿直業務職員) 公文式プリント学習 人権チェックリスト(第1回目)
8	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 感染予防対策委員会 衛生委員会 リーダー会議 職員会議 献立懇談会	浜松市と施設長の連絡会	各種研究委員会(内部)	セカンドステップ 性教育 リービングケア 公文式プリント学習 アフターケア 福祉サービス自己評価 職員調書
9	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 リスクマネジメント検討委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	おもいやり委員会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	各種研究委員会(内部) 職員研修会(内部) 児相によるスキルアップ研修会(内部) 県給食協会衛生講習会 (ペアレントトレーニング) 県養協職員研修会	セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 広報紙発行 公文式プリント学習 キャリパス(自己目標管理シート)前期評価・後期目標

月	内部会議・委員会	関係機関等との会議	研修(内部・外部)	その他
10	葵会運営会議 課長会議 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	新津小学校との連絡会 市施設協児童部会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	各種研究委員会(内部) 関フロ児童養護施設職員研修会 (ペアレントトレーニング) 県養協職員研修会 県立こども病院Dr研修会(内部)	セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 公文式プリント学習 福祉サービス自己評価
11	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 リスクマネジメント検討委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会第三者委員会	第三者委員会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	各種研究委員会(内部) 県給食協会研修会 児童虐待防止静岡の集い (ペアレントトレーニング) 全国児童養護施設長研究協議会	セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 人事評価・自己評価シート 公文式プリント学習 * キャリパス前期評価・後期目標を合わせ課長のよるフィードバック 職員満足度アンケート
12	葵会運営会議 課長会議 感染予防対策委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	児童相談所との連絡会 県西部地区施設連絡会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	各種研究委員会(内部) (ペアレントトレーニング) 県養協職員研修会 県養協権利擁護研修会 全社協社会的養護施設長研修会	セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 公文式プリント学習
1	葵会運営会議 課長会議 リスクマネジメント検討委員会 おもいやり内部委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	おもいやり委員会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	各種研究委員会(内部) 箱庭療法学会研修会 全養協中堅職員研修会 (ペアレントトレーニング) 県養協職員研修会 全養協FSW研修会 公文児童福祉施設フォーラム CAP職員研修会(内部)	セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 職員健康診断 公文式プリント学習 人権チェックリスト(第2回目)
2	葵会運営会議 課長会議 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	新津小学校との連絡会 県養協施設長会議 県養協職員部会議 県養協と養成校との連絡会	各種研究委員会(内部) 職員研修会(内部) 県養協職員研修会 県給食協会研修会 (ペアレントトレーニング)	セカンドステップ すずらん 性教育 リービングケア 公文式プリント学習 アフターケア 静岡こども福祉専門校スクーリング
3	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会・リスクマネジメント検討委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会理事会 臨時評議員会 評議員選任解任委員会 葵会第三者委員会	第三者委員会 県養協施設長会議 県養協職員部会議 市施設協児童部会	各種研究委員会(内部) 新規採用職員研修	すずらん 性教育 リービングケア 公文式プリント学習 アフターケア

令和5年度 子どもの年間行事報告

月	施設内行事	主な学校関係行事	地域・関係機関団体行事	施設訪問・招待
4	子どもへの新規採用職員紹介 家庭実習・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練 幼児健康診断(内科・歯科)	入学式(幼小中高) 始業式(幼小中高) 修学旅行(中3年) 家庭訪問(幼・小・中) 親子遠足(幼)		バスケットボール招待(随時) 散髪ボランティア(随時)
5	長期家庭実習・里親委託・親子交流 5月連休外出 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練	もりのこ運動会(小) 野外活動(中2年) 体育大会(中)	児童福祉施設奨励絵画展表彰式 浜松まつり 春季子ども会球技大会(ホート)	フラワーパーク植樹招待(松川電気)
6	家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練 公文学習児遠足	参観会(小)	新津ふれあいフェスタ	
7	七夕 フロア別キャンプ 家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練	夏祭り(幼) 終業式(幼小中高)		
8	納涼の夕べ 長期家庭実習・里親委託 盆休外出 クラブ活動 誕生日外食 防災訓練 公文プリント集中学習	始業式(小中)	児童福祉施設夏季スポーツ交流会 (ホーリング)	新津地区社協あそび広場
9	家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練	始業式(幼・高) 運動会(幼) 体育大会(中)	秋季子ども会球技大会(ホート)	

月	施設内行事	主な学校関係行事	地域・関係機関団体行事	施設訪問・招待
10	家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 児童健康診断 防災訓練	遠足(幼) 文化発表会(中) 合唱コンクール(中) 林間学校(小5年)	新津地区秋祭り 新津スポーツ祭り	
11	総合防災訓練 公文学習見遠足 家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 七五三 インフルエンザ予防接種	修学旅行(小6年) もりのこ発表会(小)	協働センター祭り 児童福祉施設オセロ大会	フラワーパーク植樹招待(松川電気)
12	クリスマス会 もちつき 長期家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 サイクリング旅行(男児) 防災訓練 大掃除	3者面談(小・中) 個別面談(幼) 生活発表会(幼) 終業式(幼小中高)	地域防災訓練	トクラス労組訪問 CoCo壱番屋カレー寄贈 チルダイナー料理寄贈 松川電気クリスマスプレゼント・ケーキ寄贈 笹田学園クリスマスプレゼント寄贈 ヒューマンアロー年越しそば寄贈
1	長期家庭実習・里親委託・親子交流 正月外出 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練	始業式(幼小中高)	児童福祉施設冬季スポーツ交流会 (サッカー)	
2	節分豆まき 個別・少人数外出 家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練 雪遊び	私立高校入試 年長お別れ遠足(幼)	虚空蔵寺大祭参拝	豆まき訪問 地域小規模花植えボランティア トヨタユニテッド静岡寄贈 ABC寄贈(自立支援) 県社協・共同募金会寄贈(自立支援)
3	ひな祭り 個別・少人数外出 卒園卒業おめでとうの会 家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 フロア別遠足 CAP子どもワークショップ 防災訓練	公立高校入試 卒業式(幼小中高) 修了式(幼小中高) 離任式(小中)		エリジオン寄贈(高校卒業生)

令和5年度 児童養護施設 すみれ寮 事業報告

「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」

令和5年度は、新型コロナウイルスが季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行された。コロナ禍前と同じように、施設、学校、地域行事などそれぞれが3年ぶりに状況を見ながら再開され、関係機関や地域社会と連携を図りながら取り組んできた。また、子どもにとっても、職員にとっても、以前の日常の生活が取り戻されていくことは心身ともに健康に過ごすことであると感じた。

平成28年の児童福祉法の改正において、施設の小規模、地域分散化、多機能化など大きな変革が求められている。社会的養育推進計画についてすみれ寮は今後の在り方を持ち、計画的に進められるように取り組んできた。

3年毎に受審が義務付けられている福祉サービス第三者評価を受審した。自己評価をはじめ準備の段階から運営・養育についての整理と振り返りを行うことができた。児童養護施設が求められている機能、支援の質について改めて考える機会をいただいた。評価していただいたことは今後のすみれ寮の施設運営、養育の励みとし、改善すべき点は今後、取り組んでいきたい。

今年度、重大な児童の交通事故が起きた。再発防止の取り組みとして、発生要因と改善策について職員全体で話し合いを行った。再発防止に向けて取り組んでいく。

令和5年度は、2名入所（家庭から1名、児童心理治療施設からの再入所1名）退所児童3名（宿泊型自立訓練1名、20歳を迎えた大学生1名、家庭復帰1名）であった。入所児童2名は虐待が主訴の入所である。退所児童の家庭復帰児童は、本人・保護者の意向、関係機関との話し合いを何度も重ね、子どもの思い、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭引き取りを慎重に進めていった。

退所児童のアフターケアは自立支援担当職員が支援にあたっている。新型コロナウイルスが5類になり、施設行事のBBQ、感謝の集い、卒業をお祝いする会に卒業生をよぶことができた。

1名の高校生は専門学校に進学をした。子どもと職員で気持ちを共有し希望する進路に進むことができた。措置の延長が認められ「すみれパル」での生活を継続していく。

人材確保は、新卒職員1名、中途採用2名の入職者があったが、年度途中の退職者があった。職員数の確保が大きな課題となっている。

令和5年度も学校、地域の方に支えられ、関係機関と連携し、職員は子どもたちの課題に向き合い子どもらしい日常生活が送れるように子ども一人ひとりの丁寧なケアに努めた。

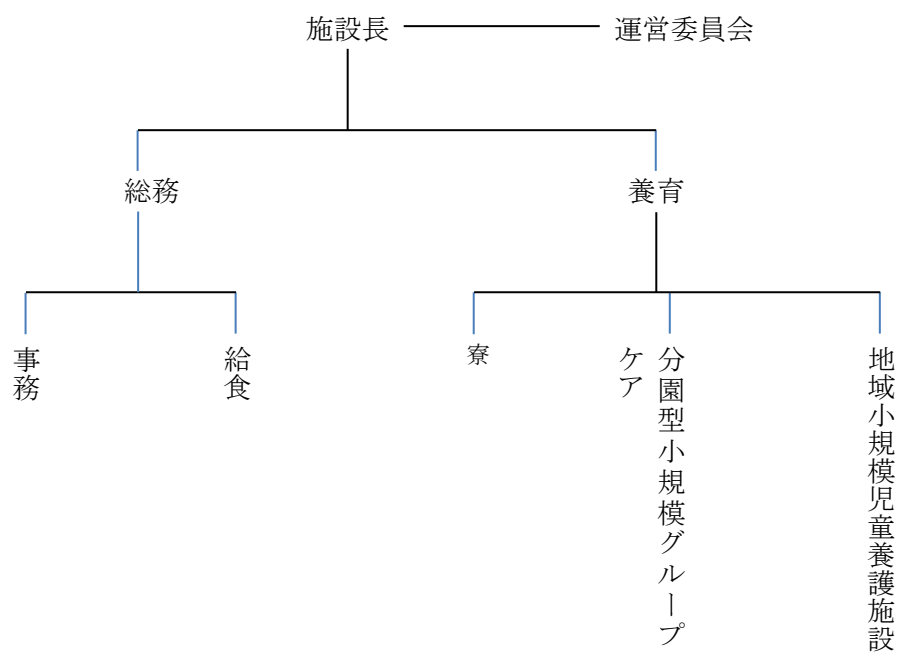
すみれ寮は、社会福祉法人葵会が掲げる福祉理念「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」の実現に向けて事業を推進した。

I 養育方針

すみれ寮職員は、子ども一人ひとりのために、福祉職としてのプロ意識を持って専門性の向上に努め、深い愛情と職員相互のチームワークにより、以下の養育方針（目標）達成のために精励努力した。

- 1 子どもの権利を擁護し、子どもの意見表明権を尊重し、自分で考え判断決定する自主性・自律性を育んだ。
- 2 小舎制による家庭的な養育環境の中で、安心してのびのびした生活環境を提供した。
- 3 一人ひとりとの関わりを大切にし、心の痛みへの受容共感を通して、情緒の安定や大人への信頼関係を育んだ。
- 4 豊かな自然環境のもと、地域の皆様との交流を通じて豊かな人間性を育て、健康で生き生きとした生活を送る基礎を培った。
- 5 より家庭的な養育をすすめ、地域の一員としての豊かな生活体験を営んだ。
- 6 安全な生活を保障するため、健康管理に注意し、事故や災害の防止に努めた。
- 7 地域行事や関係団体行事に積極的に参加し、地域社会の中での育みを大切にした。
- 8 一人ひとりの発達段階やニーズに応じた家庭学習をサポートし、学習意欲を育て、学力向上を図った。
- 9 保護者の皆様の状況を理解すると共に、関係機関と協力して家族再統合・里親委託に向けて支援した。
- 10 施設退所後の生活に向けて、多くの体験を通して社会性を育み、自立を支援し、併せて退所後の相談に応じた。

Ⅱ 養育体制



Ⅲ 子ども一人ひとりのための年間事業報告

1 自立支援計画の作成と見直し

子ども一人ひとりの自立支援計画票を子どもや保護者の意向、学校生活の様子を児童相談所と調整しながら作成し児童相談所との連絡会の場で半年毎に見直しを図った。

2 子ども達の健やかな養育のための年間行事報告

社会への適応性を高め、豊かな人間性を育てるために有効な施設行事を年間通して実施し、また地域や関係機関団体等の行事に参加し、企業団体などからの訪問招待を受け入れた。

※別紙「子どもの年間行事計画」参照

3 養育の質の向上と自立支援

子ども一人ひとりに対する養育の質の向上と自立を支援するため以下の事業を実施した。

自己評価、外部専門家からのスーパーバイズによるケース報告検討会、心理療法担当職員による心理的ケア、小規模グループケア1か所（ユニット）、地域小規模児童養護施設1か所（パル）、家庭支援専門相談員による家庭調整、退所児童へのアフターケア、リービングケア（中高校生への自立支援）、栄養士等による食育（野菜作り含む）、動物の飼育、子ども会議の開催、中高生の通塾、習い事（ピアノ）等

4 子どもたちが安心して生活するための権利擁護

子ども一人ひとりの権利を尊重し、安心して生活できる環境を提供するため、懲戒に係わる権限の濫用禁止及び被措置児童等虐待防止に向けて以下の事業を実施した。
養育環境向上（苦情解決）第三者委員会 苦情受付箱の設置 子ども会議（小・中高） 被措置児童等虐待防止の研修会 CAP 子どもワーク（子どもの人権意識を高め暴力から自分を守る教育プログラム） 虐待行為聞き取り調査票 業務内容自己点検表

5 児童相談所との連携

措置機関である児童相談所と、子ども一人ひとりの家庭状況、発達課題の情報を共有し、連携して自立支援にあたった。

児童相談所の児童福祉司・児童心理司・医師による発達課題や心理状態に応じた面接の実施、児童相談所との連携による早期家庭復帰（家族再統合）の推進、児童相談所児童心理司によるスキルアップ研修とペアレントトレーニング研修
里親委託推進・ショートルフラン利用での里親との交流など

6 学校との連携

学校との連携は極めて重要であり、心身の発達・学習の習得状況・友人関係等日常的に情報交換を行い子どもへの理解を図る。施設のケース報告検討会に小中学校の先生方を招き情報共有の場とした。

新規入所児童については、事前に学校と綿密な連絡を取り受け入れ態勢を整えた。進路や問題と思われる行動については、児童相談所を含めた合同関係者会議を実施し適切な手立てを検討し学校・施設で一貫した対応を進めた。

嘱託医をはじめとする医療機関（主に児童精神）との受診や関係者会議を通して、子どもの心身への適切な対応を進めた。

7 家族再統合に向けての保護者との連携

子どもと保護者の関係改善のため、職員と保護者の連携を深めるため以下の事業を実施した。

毎月の家庭実習(一時帰宅)・面会・外出・保護者へのお便り（成長状況を伝える）親子交流事業、児童相談所・民生委員等の関係機関との連携による家庭支援、家庭支援専門相談員による家庭支援（電話連絡・家庭訪問等）の実施

8 退所児童の支援

退所児童の所在確認、健康状態、就業状況等支援の必要性確認のため定期不定期にアフターケアを実施した。

措置延長で県内外の大学等に進学する児童に対し円滑な学生生活が送れるよう不定期での訪問指導を実施し、電話、メール、ラインでの連絡を月1回以上行った。

浜松市大学等進学就学支援事業によるアフターケアを実施した。

清明寮の児童養護施設等退所者支援事業所しいの木との連携による退所者の支援を実施した。

9 ボランティアの受入れ

児童養護施設へのボランティアを希望する団体・個人の方々を積極的に受け入れ、養育の質の向上、養育環境の整備等を図った。

地域美容院による散髪 地域個人による学習ボランティア その他地域団体・個人ボランティア（理容 野菜作り・花壇の花植え等）の積極的受け入れ

IV 施設運営のための年間事業報告

1 会議・委員会・連絡会

子ども一人ひとりへの養育の質の向上と円滑な施設運営を図るため、また関係機関団体との連絡調整等のために、以下の会議・委員会を開催した。

(1) 施設内部の会議・委員会・連絡会

職員会議、職員連絡会、定例会議、グループ会議、ケース報告検討会議（外部講師のスーパービジョン）若年職員会議、献立懇談会議、給食会議
リスクマネジメント検討委員会、防災委員会、保健委員会、社会的養育推進のための検討委員会、養護環境向上委員会（苦情解決、自己評価）

(2) 関係機関団体等との連絡会

静岡県・浜松市の児童相談所との連絡会（自立支援計画票の作成と見直し等）
気田小学校との連絡会、春野中学校との連絡会
すみれ寮運営委員会 春野地区社会福祉協議会との合同行事
「まほろば文庫」運営委員会

2 人事・労務管理

(1) 教育訓練・能力開発管理

職員の専門性の向上を図り、より質の高い養育を提供するために内部研修会等を実施し外部研修会へ参加した。

ア OJTの実施

イ スーパービジョンの実施

ウ 内部研修会等の開催

職員研修計画に沿った内部研修会、新任職員研修会、新採職員採用前研修 施設視察研修、県立子ども病院医師による研修会、CAP 職員ワーク ペアレントトレーニング研修

エ 外部研修会への参加

施設長研修会、養育担当職員研修会、家庭支援専門相談員研修会、事務職員研修会、栄養士・調理職員研修会 新任職員研修

(2) 人材確保

安定的な職員の人材確保を進めるため以下の事業を実施した。

ハローワーク、静岡県社会福祉人材センターの就職相談会への出席、大学のキャリアセンターなどの求人依頼など

(3) 健康福利管理

職員の健康を維持し福利厚生を充実させるため、以下の費用助成・サービス提供等を実施した。

職員定期健康診断の実施と健診費用の助成

インフルエンザ予防接種費用の助成

福利厚生センターへの加入による各種福利厚生サービスの提供

社会福祉施設従事者相互保険への加入による医療保障

3 安全管理・保健衛生・健康管理

事故や災害の無い安全な施設生活を保障し、健康で健やかな成長を図るために、以下の事業を実施した。

業務委託による安全管理(防災設備点検・非常通報装置等)、毎月の防災設備点検及び備蓄食料品の点検、総合防災訓練、非常時避難訓練・消火訓練、救急救命講習、防犯教育、交通道德教育、嘱託医による内科健診、看護師による保健指導、インフルエンザ等予防接種、投薬表による薬品管理、職員保菌検査
新型コロナをはじめとする感染症対策の強化

4 施設(建物・設備)の整備保全、備品購入

安全で快適な施設の生活環境の確保及び維持するため以下の事業を実施した。

快適な生活環境を提供するための各所工事、故障・破損による建物設備の修繕工事、業務委託による建物・設備の保全(特殊建築物定期点検)

児童用・業務用等の備品(固定資産含む)の購入

5 施設機能を活かした地域貢献

児童養護施設が保有する専門性を活かした地域貢献を図るため以下の事業を実施した。

「浜松市保育ママ事業」への登録と実施、「浜松市子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライト)」の受託、養育里親認定施設研修の積極的受け入れ

浜松市要保護児童対策地域協議会代表者会議及び実務者会議への出席

「まほろば文庫」の運営

6 次世代の児童福祉を担う人材の養成

児童養護施設が保有する専門性を活かして、児童福祉を担う人材の養成のために以下の事業を実施した。

福祉職員養成校からの保育士・社会福祉士等の資格取得実習生の積極的受け入れ

福祉職員養成校からの依頼による講師の派遣

7 福祉サービス第三者評価事業の受審

静岡県社会福祉士会と契約して受審した。
前回の低評価項目及び自己評価内容を分析し検討した。
各種マニュアルの作成、見直し等を実施した。

8 社会的養育推進計画

子供の最善の利益の実現のために職員全員参加で、地域分散化、小規模化に取り組んだ。
推進計画の実現に向かって職員全員参加で取り組みを始めた。

9 地域小規模児童養護施設の運営

地域小規模児童養護施設パル（定員6名）を天竜区二俣地域で安定的に運営した。

10 養育支援マニュアルの検証と見直しの実施

養育の標準化を進めるため、定期的に全職員参加のもと実施した。
その際、子どもの意見や提案を反映させた。

令和5年度 施設運営年間事業報告

月	内部会議・委員会	関係機関等との会議	研修(内部・外部)	その他
4	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 給食会議 防災・保健委員会 グループ会議 若葉会議	気田小学校との連絡会 県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	新任職員研修会(内部)	辞令交付 アフターケア まほろば運営委員会
5	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 防災・保健委員会 グループ会議 若葉会議 社会的養育推進の為の検討委員会 法人監事監査・役員会	家庭訪問(小・中学校) 県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	県養協各部会 救命講習 職員研修(内部)	自己評価 アフターケア まほろば運営委員会
6	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会 すみれ寮運営委員会	自立支援計画検討会 県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	県養協新任職員研修会 県養協各部会 関プロ児童養護施設研究協議会 養護問題研究会 衛生講習会 職員研修(内部) 子ども病院巡回相談	人事評価 アフターケア まほろば運営委員会
7	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会 社会的養育推進の為の検討委員会	第三者委員会 県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	県養協各部会 関プロ運営委員合同研修 CAP職員ワーク 職員研修(内部)	アフターケア まほろば運営委員会
8	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議	要保護児童対策地域協議会	感染症講座	アフターケア 家庭訪問 まほろば運営委員会
9	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会 社会的養育推進の為の検討委員会	県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	県養協各部会 職員研修(内部) 全養協FSW研修会	職員健康診断 アフターケア 家庭訪問 まほろば運営委員会

月	内部会議・委員会	関係機関等との会議	研修(内部・外部)	その他
10	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 すみれ寮運営委員会 防災・保健委員会 グループ会議 若葉会議	県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	県養協各部会 関プロ児童養護施設職員研修会 小舎制養育研修会 職員研修(内部)	まほろば運営委員会
11	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 社会的養育推進の為の検討委員会	第三者委員会 県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	職員研修会(内部) 職員研修(内部) 児童虐待静岡の集い	感謝の集い(創立記念)
12	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会	県養協施設長会議 自立支援計画検討会 要保護児童対策地域協議会	職員研修(内部)	人事評価 まほろば運営委員会 家庭訪問
1	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議・個別検討会議 防災・保健委員会 社会的養育推進の為の検討委員会	県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	県養協各部会 健福祉研究会 職員研修(内部)	職員健康診断 家庭訪問 まほろば運営委員会
2	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会	県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	県養協各部会 県養協合同研修会 職員研修(内部)	まほろば運営委員会
3	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会 社会的養育推進の為の検討委員会	第三者委員会 県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	県養協各部会 職員研修(内部)	まほろば運営委員会 家庭訪問

令和5年度 子どもの年間行事報告

月	施設内行事	主な学校関係行事	地域・関係機関団体行事	訪問招待
4	家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	入学式(幼小中高) 始業式(幼小中高) PTA総会(幼小中高) 参観会(幼小中) 家庭訪問(幼)		サーカス招待
5	長期家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 交通安全教室 避難訓練	家庭訪問(小中) 資源回収(小中) 親子遠足(幼) 修学旅行(中)	児童福祉施設奨励絵画展表彰式	
6	家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	プール開き(幼小) 参観会(幼・小・中) 林間学校(小)	ホテル祭り	
7	家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 CAP子どもワーク 防犯教室 子どもの聞き取り調査 避難訓練	参観会(中) 町内水泳大会(小) 中体連 終業式(幼小中高) 教育相談(幼小) 三者面談(中)	ふるさと少年少女教室 ラジオ体操	
8	長期家庭実習・里親委託 盆休外出行事(川遊び・映画・外食等) 一泊旅行 体験活動 子どもの聞き取り調査 性教育 避難訓練(夜間)	親子奉仕作業(幼小中) 始業式(中)	気田花火大会 ラジオ体操 夏季スポーツ交流会	
9	家庭実習・里親委託・親子交流 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	始業式(幼小高) 学力調査(中) 運動会(幼小中) 体カテスト(小)		

月	施設内行事	主な学校関係行事	地域・関係機関団体行事	訪問招待
10	家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 インフルエンザ予防接種 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	天竜区陸上大会(小) 体力テスト(中) 修学旅行(小)	気田地区祭典 ふるさと少年少女教室	
11	感謝のつどい 家庭実習・里親委託 親子交流遠足 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 総合防災訓練	黎明祭(中) 音楽発表会(小中) 参観会(小) 資源回収(小中) 修学旅行(高) ドレミステージ(幼) 学習発表会(小)	児童福祉施設オセロ大会 はるの産業祭	
12	長期家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 児童健康診断 クラブ活動 大掃除 親子交流もちつき会 クリスマス会 子どもの聞き取り調査 避難訓練	持久走大会(幼小中高) 終業式(小中高) 三者面談(中) 教育相談(幼)	地域防災訓練 ふるさと少年少女教室	
1	長期家庭実習・里親委託 正月外出行事(初詣・映画・外食等) 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	始業式(幼小中高)	児童福祉施設冬季球技大会(サッカー) 天狗の里駅伝大会 子ども会6年生を送る会	
2	節分豆まき 家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 性教育 子どもの聞き取り調査 避難訓練	私立高校入学試験	春野町文化展	
3	ひな祭り 卒業をお祝いする会 家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 体験活動・クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	公立高校試験 卒業式(幼小中高) 離任式(幼小中高) 修了式(幼小中高)		